

# 2024年各社の戦略

## ニチハ株式会社



代表取締役社長  
吉岡 成充 氏

明けましておめでとうございます。茲数年、災害防止の観点もあり、レジリエンス住宅についてのニーズが高まっています。この動きは外壁分野でも同様で、最近に変色・褪色30年保証対応外壁材への引き合いが増加する等、長寿命化に資する商品へのニーズの高まりを感じています。当社といたしましては、災害に対する高い耐久性は勿論ですが、更なる長寿命化の実現に向けまして、鋭意、研究開発・商品開発に努めてまいり所存です。

レジリエンスに加え、本年も、ESGの取組を一層強化してまいります。当社のオフセットサイディングは国産木材チップを原材料に使用することでCO<sub>2</sub>を固定できる特性を有しております。昨年、その特性が認められ、当社のオフセットサイディングが、環境省が支援する「食とくらしのグリーンライフ・ポイント推進事業」に窯業系外装材として初めて採択されました。これにより、オフセットサイディングをご採用いただいたお施主様は「CO<sub>2</sub>固定量証明書」を通じて環境貢献を実感いただくと共に、ギフトカードが抽選で当たるキャンペーンにも参加いただいております。昨年には、新商品として、「外壁にプラスアルファのデザインを」をコンセプトに、外装材の可能性に挑戦した新シリーズ「+D(プラスディー)」を投入いたしました。本年もデザイン性に趣向を凝らした新商品を続々と投入してまいりますので、どうぞご期待ください。

### 非住宅市場開拓の一層の加速

窯業系外装材、金属製外装材ともに、主力の住宅市場での更なるシェアアップ活動に加え、商業施設や中高層マンション等、これまで窯業系外装材や金属製外装材があまり採用されてこなかった非住宅市場においても、新築、リフォーム各々のニーズを積極的に発掘してまいります。

具体的には、大型建築物にもマッチするデザイン性の高い外装材の新商品を投入する一方で、工法面の強化も進めています。例えば、当社の開発した金属胴縁を用いて外装材を施工する場合、構造にもよりますが、窯業系外装材であれば最大高さ45mまで、金属製外装材であれば最大高さ30mまで施工することができます。また、昨年には、鉄骨造ALCロッキング構法に外装材を重ね張りリフォームすることのできる工法を新たに開発しました。この工法を用いることで、新築同様の外観デザインに仕上げることが出来ることに加え、経年劣化によるクラックの補修費用や再塗装費用など将来的なメンテナンスコストの削減が可能となります。

こういった商品面や工法面の利点を訴求しつつ、非住宅市場を得意とされている設計事務所やゼネコン等に積極的に提案を行い、非住宅市場開拓を加速してまいります。

窯業系外装材  
モリエックセラード16 オペリアシリーズ

金属製外装材  
センターサイディング 55リアル

バウンディウッド

GLP  
アクション

窯業系外装材業界  
としては、当社が初めて  
採択されました!

M型 スマートフラット 侘寂(WABISABI)

ニチハ株式会社  
@nichiha\_officialjapan

## 株式会社日新



代表取締役社長  
又賀 航一 氏

明けましておめでとうございます。

はじめに、皆様のご理解・ご支援の下、火災により操業がストップしておりました境港本社工場を昨年5月に再建・生産再開をすることができましたこと、厚く御礼申し上げます。特に本社工場で生産していた長尺合板については、ほぼ1年間のブランクを経ての市場復帰となりましたが、お客様皆様のご理解を得ながら少しずつ火災前の状態に製造・販売とも戻りつつあります。新本社工場は現在の需要動向に合わせて火災前の月産13,000㎡から8,000㎡規模にスケールダウンして操業をしておりますが、最新の設備と万全の安全・火災対策を備えた生産性の高い工場に生まれ変わり、お客様のご要望にそった商品供給が可能となっておりますので、引き続きご愛顧をお願いしたいと思います。

弊社は、「第二次中期経営計画」の最終年度を迎えますが、計画立案時には想定もしていなかったウッドショックによる原木・合板を含む木材製品価格の乱高下、円安やインフレによる物価高、金利政策の変更、それに伴う住宅需要の不振を経て、合板需要が伸びない状況に直面しており、強い危機感を持っております。また、トラック2024年問題の年でもあり、ホワイト荷主としてお客様への安定納入をする体制を構築するために輸送費のアップは避けられず、他にも諸費用などコスト増要因ばかりでメーカーにとって厳しい環境が続きますが、原材料の転換・生産性の向上を通じて課題を克服し、品質・コスト・安定供給のバランスをとって顧客満足度を高めるため、次期計画にもつなげる必要な設備投資を行ってまいります。

### 合板の特性と良さの理解を進める

地震など災害が多発する中、住宅をはじめとする建築物にレジリエンス(強靱化)要求が高まっております。加えてZEH義務化に伴う構造材規格の変更や必要壁量の増加から、エンジニアウッドとして高い性能をもつ合板を有効に利用していただきたいと考えております。また、脱炭素社会実現のための建築物などにおける木材利用促進の一環としての合板の利用促進も進めたいと思います。建築分野のCO<sub>2</sub>排出量は世界全体の38%と高い割合を占めており、従来はその内の冷暖房等によるオペレーショナルカーボンの比率が高かったものの、直近10年で建設に関わるエンボディドカーボンの比率が高まり、建築資材の評価(LCA等)が重視されつつあります。合板そのものの炭素貯蔵量が高いことに加えて製造時のCO<sub>2</sub>排出量が少ない点をアピールしてまいります。

併せて、建築・建設の施工の面からも合板使用をより一層進めたいと思います。大工業者はこの20年間で半減しており、更に減少を続けております。また60歳以上が半数近くを占めており、高齢化は一層進むものと予測されております。合板は面材の中でも軽量でかつ強い特性を持ち、施工の安全性・現場での取り回しの良さがあり、これからの建築現場にフィットした商品です。施工生産性を上げるパネル化にも高性能・高品質の合板は必ず寄与するものと確信しております。

これからも、お客様のニーズに耳を傾けお役立ちできるよう、合板製造・販売を通して持続可能な社会の進歩と発展に貢献してまいります。

日新グループは、木材の高度利用でより質の高い製品づくりをめざします。

樹木としてはもちろん、素材となっても、さらに廃材と化しても地球にやさしいのは木材です。

このすばらしい木材を広く利用していただくため、日新グループは木材の研究、生産技術の改良など高品質の製品づくりに取り組んでいます。

人と木を結んで・・・

日新グループ  
https://www.nisshin.gr.jp/

日新ホールディングス株式会社

株式会社 日新  
本社工場 境港市西工業団地100 TEL 0859-47-0303  
第二工場 松江市東町1062 TEL 0852-98-2211  
第三工場 境港市西工業団地70 TEL 0859-47-0303  
湖北工場 松江市富士見町3-19 TEL 0852-37-0301  
福岡工場 福岡県北九州市門司区5-58 TEL 0895-39-8103  
三重工場 三重県多度摩利町1343-1 TEL 0598-38-8003

NS木質科学研究所  
境港市西工業団地102 TEL 0859-47-0606

湖北ベニヤ株式会社  
本社工場 松江市富士見町3-13 TEL 0852-37-0301

島根合板株式会社  
本社 浜田市治政町1895-2 TEL 0855-27-1625  
第二工場 浜田市南町1168-8 TEL 0855-27-1625

島根県合板協同組合  
本社 松江市東町383 TEL 0852-23-3822

日新林業株式会社  
本社 松江市東町383 TEL 0852-23-3822  
松江工場 松江市東町383 TEL 0852-23-3822  
北松江工場 松江市北松江町383 TEL 0852-23-3822

日新ハイオマス発電株式会社  
本社 松江市東町383 TEL 0852-23-3822